

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センタークオランビーノ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能事業所であり、多職種によるさまざまな視点で情報を共有し、より深くこどもたちの姿について把握しています。	・児童発達支援センターや放課後等デイサービスの個別支援会議等に参加し、利用者様の姿を把握し、訪問支援を実施しています。	・訪問先の事業所等との情報交換をより密に行い、支援の質の向上を図っていきます。
2	・専門知識を有する職員が在籍しており(作業療法士・言語聴覚士)、専門的な視点をもちながら、保育所等訪問事業に携わっています。	・利用者様それぞれのニーズや課題に応じて、支援できる体制を整えています。	・職員の資質向上のため、保育所等訪問に関わる、職場内研修や外部研修等を行っています。
3	・安心して気軽に相談できる環境づくりを行っています。	・相談や要望等には速やかに対応しています。多職種で専門的な支援を行い、問題や不安を解消してくれる事業所でありたいと考えています。	・いつでも保護者や関係機関からの相談を受けられるような雰囲気づくりや体制を整えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・リアルタイムでの園や学校、保護者との情報共有が難しいことがありました。	・訪問頻度が少ないため、支援の結果や現状の把握がされにくいと考えられます。	・訪問回数を増やすことで、園や学校と密に連絡を取れる体制を整えていきます。
2	・緊急時の対応について、訪問先施設と連携が十分に行えていないことがありました。	・事業所内では緊急時の対応については定期的に研修や訓練等を行っています。訪問先への連携などが十分に行えているとはいえないと考えています。	・緊急時の対応について、事前に訪問先施設に共有するなど確認をとることを検討します。
3			